



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中!…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX : 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時
Web URL : <http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス : ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

12/5 一日里山冒険遊び場「落ち葉たき」



農閑期です。朝、澄み切った凍える空気の中、つらら、霜柱、田んぼや池に張った氷など、住宅街ではなかなか見られない谷戸の冬が味わえます。秋に賑わった田畑もしばらくお休み。春に備えて堆肥作り、耕しなど欠かせません。今号は谷戸の恵みの活用特集です。

もくじ

☆特集・谷戸往来→2・3p

☆各班からのお知らせ→4p ☆谷戸の自然だより→5p ☆谷戸の体験学習→6・7

p ☆1~3月の日程表(裏表紙)

春の七草&どんど焼き1/14(金)

2時半~野外生活体験広場(少雨決行)

※引き換え券の頒布があります。

※団子、七草粥は数に限りがあります。

※お椀・お箸をご持参ください。

特集 秋の谷戸は大賑わい!



谷戸往来 谷戸往来 谷戸往来

谷戸の収穫物を寄附しました

豊作だった谷戸の恵みを、鎌倉風致保存会、福祉団体(のんびりスペー大船他)、子供会や青空自主保育数団体など、今年もいくつもの団体にお分けすることができました。★<デイ華花より>いただいたジャガイモはコロッケにして美味しくいただきました。中央公園で収穫されたと聞くとさらに美味しさも増したようで「甘いね～、美味しいね～」とおっしゃっていました。ありがとうございました。★<工房ひしめきより>いただいたサツマイモは、私どもで販売しているクリスマス・オードブルの大学イモとして使わせていただきました。また、ケアホーム利用者の夕食に天ぷらで出しました。大変助かります。ありがとうございました。

デイ華花のみなさん



大学いも



工房ひしめき

深沢小ふれあい広場 10/23 (土)



今年は、味噌おにぎり、蒸かし芋、芋づる煮を 550 人分振る舞いました。

サトイモとどろんこ 11/10 (水)

かまくら子育て支援グループ懇談会主催

38 組の親子が参加し、畑仕事を楽しみました。お店で見るサトイモと随分違うのに驚いていたのはお母さんのほうでした。収穫したサトイ



モをみんなで試食。大半の方が、とれたてをそのまま蒸かしただけでおいしいということを知ったようでした。

かまくら食育クラブ員養成講座 10/24 (日) 鎌倉市市民健康課主催

今年も講座の実習が谷戸で行われ、16 名の方がさつまいも掘りの初体験をしました。<参加者の声>★作物の出来具合を気にし、薬を使わずじっくりしみながら作っている会の人たち。そんな様子を見聞きして、無駄を無くし全てを食さなければ申し訳ない気持ちでした。★作業の終わりに頂いた蒸かし芋、小指程のものを選ぶ。自分で掘るとどんなに小さな芋でも愛おしく思えたから。細い芋は繊維が多いけれど、紅色が美しく充分甘い。“小粒でも旨味のある人になれよ!”かな。不慣れな者へのご指導、ありがとうございました!



第1回父と子の里山体験 11/21 (日)

雑木林管理班の普段の活動を一般市民の親子にも体験してもらい、谷戸に親んでもらおうと企画された「父と子の里山体験」が始まりました。初回は13組の親子が参加し、木を伐採して薪を作ったり、火をおこしたり。生きている木をノコギリで切り、やっとのことで倒れる瞬間は感動ものでした。金槌(かなづち)とクサビで木を割ったりするのはもちろん、今の子どもたちにとっては、マッチをする



のも新鮮な体験です。たっぷり体を動かしたあとは、とれたてのシイタケを出汁にしたサトイモのしょうゆ汁が、なんともおいしかったです。午後は、のんびり谷戸を散策し、絵本「炭やきじいさん」も朗読しました。



鎌倉「てらこや」の活動無事終了

今年も当会が米作り体験を指導しました。大学生スタッフの感想を紹介します。★中央公園に来ると普段の忙しい生活を忘れてのんびりした気持ちになれたり、田んぼ作業をして土に触れることで元気になったりしました。こうした活動は子ども達や私達大学生、そして一緒に活動した親御さんたちにとってもいいものになったと思います。私はこの事業の担当者として、谷戸の会の皆さんと仲良くなって、一緒に活動ができて本当に良かったです。



かながわ子ども・子育て支援活動交流 フォーラムに参加 10/29 (金)

「子育て・親育ち共に育てあう支援のあり方」の交流会に8団体の1つとして参加し、里山冒険遊び場や里山お泊り会などを報告。親が求める支援を探る勉強会をしながら、他団体との親睦を深めました。

里山ボランティア講座 11/12(金)最終回 かながわコミュニティーカレッジ連携講座

5月から6回行った連続講義が無事終了しました。横浜の「かながわ県民センター」のすばらしい講義室で、当会の活動を紹介しながら谷戸の様々な意義について話をする事ができ、活動現場とは異なった参加者との触れ合いが生まれました。来年度も神奈川県で取り上げていただければ、山崎の谷戸での実践も取り入れ、より内容を充実させていきたいものです。

アジアの研修生が谷戸を訪問 NGO「PHD」主催 11/14(日)

1年間の日本での有機農業や保健衛生の勉強のさなか、毎年、日本の市民活動の勉強を目的として当会と交流しています。＜参加者の声＞★昔のうぎょうのしごとをべんきょうしました。だいじだとおもえます。(ウルミラさん、ネパール女性 28歳)★NPOのつくりかたをたくさんはなしてくれました。(インドラさん、インドネシア男性 28歳)



各班からのお知らせ

田んぼ班 ★1/16 (日) 堆肥切り返し・粃殻くん炭 ★1/23、30 (日) 苗床耕し・粃殻くん炭

脱穀目前の強雨の予報に、焼け石に水とはわかっていても、はさにありっただけのブルーシートを掛けました。農家なら乾いた稲を納屋へ取り込んだり、脱穀を早めたりの手があったでしょうが、そこが休日作業のNPOの弱みです。それでもなんとか脱穀・粃すり・精米を秋の谷戸まつりに間に合わせて、おにぎりとおもちで新米の初賞味ができました。「おいしい！」という反響に、田んぼ班としては大満足。今年は昼夜の高温が続いたためか、収穫は去年の2割減でした。来年に向け、自然に寄り添った谷戸流米作り再始動です！



畑班

★1/9 (日) 落ち葉かき・堆肥作り ★16 (日) 堆肥場の整備・畑の整備
★23 (日) 畑の荒起こし・堆肥作り ★30 (日) 麦踏み・草取り・土寄せ



収穫後の畑は耕されて堆肥が蒔かれた畑となって来ました。今年は春先の冷氣と夏の猛暑で、収穫量にその影響が出ています。特に、たのくろ豆、小豆などは大幅な減少でした。収穫はともかく、年間を通じて会員のみなさんから畑作業の活動応援をいただき、景観が保たれてきたことに感謝します。これからは日頃できない活動としての堆肥作りと、畑の保全活動が始まります。ご一緒してみませんか。



雑木林管理班

★1/9 (日) 竹切り ★16、23 (日) 除間伐

谷戸の林も落ち葉がすっかり落ちて、冬の景観になりました。谷戸の雑木林のあり方や、安全作業について谷戸講座で確認し、下草刈りや除間伐作業に取り組んでいます。また、新たな試みとして「父と子の里山体験」の企画・運営、公園内の樹木の植生調査を開始しました。



農芸班 ★2/4 (金) 味噌作り

昨年の味噌作りは糶を作ることから挑戦。3日間、一定温度以上に温め続けなければならず苦勞しましたが、糶粒の残る、ほのかに甘みのある味噌ができました。ご興味ある方、是非ご参加下さい。



自然遊び班 ★1/23 (日) 一日冒険遊び場 「わら細工 縄ない・むしろ編み」

氷が見つかるかな？霜柱はあるかな？

冬の里山にはいろいろな楽しみがあります。

谷戸の自然だより ～秋から初冬～

今年の秋は寒暖の差がはげしかったせいか紅葉がみごとでした。12月になっても気温が高めでしたが、12月3日の未明に台風なみの豪雨と南の強風が吹き荒れ、市内の一部に災害をもたらしました。12月としてはあり得ない天気です。やはり温暖化の傾向でしょうか。

～春の七草～

近頃は、野菜売場に春の七草がセットで販売されているとか。毎年1月14日のどんど焼きの日には、七草がゆの材料を集めるのに苦労します。現代の1月は昔の暦では2月のことです。春の七草は早春の陽光の下で伸び始めた野草を摘むのが本来の姿なのでしょう。今の1月7日は真冬の最中で七草摘みの実感は湧きません。やはり季節の暦は旧暦で考えたいものです。

春の七草も秋の七草も共に里山の植物ですが、春の七草は田や畑の周囲に生え、雑草扱いにされる野草が多いのが特徴です。つまり人間の影響を受けやすい不安定な環境に生える植物なのです。

谷戸での現状を種類別に紹介してみましょ。

セリ：田んぼの中や湿地に生える田んぼ雑草。今でもたくさん採れる。

ナズナ：畑の周辺に生える畑雑草。畑や空地がなくなって少なくなっている。

ハコベラ（ハコベのこと）：畑の周辺に生える畑雑草。在来種のハコベより帰化植物のウシハコベやコハコベが多くなっていることはあまり知られていない。

ゴギョウ（ハハコグサ）：ここ数年で激減した野草。よく似た種類のウラジロチチコグサ（帰化植物）の侵入が影響しているのかもしれない。いつの間にか、谷戸ではほとんど見かけなくなってしまった。

スズナ（カブ）、**スズシロ**（ダイコン）：畑の作物なので今でも健在。旧暦で考えると昔はトウ立ちしたつぼみを摘んで食べたのかもしれない。

ホトケノザ（コオニタビラコ）：元々ないのか、絶滅してしまったのか、谷戸では見たことがない。市内では広町緑地の田んぼの周辺にわずかに見られる程度。

春の七草をたくさん摘めるような環境は、今の鎌倉にはほとんどないのが実情です。春の七草を摘みながら谷戸の植物を見守っていきましょう。

生態系保全班 ★野鳥観察 1/23 (日)

最も冬らしいこの時期は、思わぬ野鳥に出会うこともあります。

植物育成班 ★野草生育地の手入れ 1/10 (月・祝)

貴重な野草の生育地を観察しながら保全作業をします。

第14回秋の谷戸まつり 11/28(日)

お手伝いの町内会のみなさん

今回は、竹で作った馬に乗る「竹流鏝馬」がユニークな体験で目を引きました。正月飾りも好評で、地元の方の指導の下、みなさん一生懸命作っていました。また、近隣町内会のお手伝いの方にも協力していただくことができ、大盛況でした。



松尾市長は娘さんと



流鏝馬

